



吉子川



令和6年10月8日(火)
学校だより NO. 38
中島村立吉子川小学校
発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

【よしコッピ】

吉子川小学校
のあやめの花に
住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの
十か条(10月)
きまり、ルールは守ってあたり前
落ち着いた環境で高まる集中力

◇ 2024なかじまの里スポーツフェスティバル ◇

10月6日(日)、中島村農村環境改善センターで「2024なかじまの里スポーツフェスティバル」が開催されました。持久走記録会を兼ねた大会でもありました。長距離走は、始めのうちは苦しさとの闘いでもあります。ある意味自分との闘いです。それを乗り越えたとき、走ることが気持ちよくなる、いわば新しい世界が見えてきます。子どもたちは、必死に自分と闘いました。ライバルは友達ではなく、昨日の自分、あきらめようとする弱い自分です。頑張る友達が励みにもなったようです。自己新記録を出す子もいたようです。大変すばらしいことです。

多くの方々が、子どもたちの一生懸命な姿に感動したと思います。誰一人、楽そうな顔で走っていた子はいませんでした。みんな顔をくしゃくしゃにして走っていました。苦しいけれども、必死にこらえている様子が、体全体から伝わってきました。体力があり自信がある子も、そうでない子も、みんなが一生懸命の汗を流してくれたことに拍手です。沿道では、地域の皆さんが、子どもたちに温かい声援をかけてくださいました。本当に温かい地域です！ありがとうございました。



小学校の時期は、身体が大きく成長する時期でもあります。この時期に、長い距離を走ることによって肺活量や身体のスタミナを養うことができ、この先の人生のための丈夫な身体を作ることになります。さらに、心も鍛えます。苦しい時に、すぐにあきらめてしまうようでは、この先、運動とは直接関係のない勉強(学習)も仕事も心配です。

苦しくても一歩一歩前に進み続けること。その一歩一歩が確実にゴールに近づくのですから！

